



2017・11・21

第 290 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

安倍9条改憲案を批判し 3000 万署名成功を

自民党改憲推進本部、審議再開

＜合区解消問題を討議＞自民党改憲推進本部は 11 月 16 日、全体会合を開きました。「総選挙で中断したが、今後は頻繁に開いていく」（細田博之本部長）予定です。

この日は参院選の合区解消について論議し、47 条 1 項として「各選挙区は人口を基本とし、行政区画、地勢等を総合的に勘案して定めなければならない」、ただし、「参議院議員の全部または一部については、改選ごとに各広域的な地方団体の区域から少なくとも 1 人が選出されるよう定めなければならない」を挿入することで一致。

また、憲法の規定に「都道府県」の規定がないことを踏まえ、地方自治体の種類として 92 条に市町村を指す「基礎的な地方公共団体」と、都道府県を指す「広域的な地方公共団体」を基本とするとの規定を加えることでも一致しました。

署名の「新発寒全戸訪問」始まる

【札幌市手稲区／新発寒九条の会】 11 月 4 日(土)、午前 10 時。新発寒 2 条 2 丁目のマンション「サーム発寒」前に 6 名の会員が集結、3 組に分かれて行動しました。ひと

組はハンドマイクとのぼりで、路上から訴えました。あとのふた組で約 80 戸の各戸をピンポンして訪問。ほぼ半数は留守でしたが約 40 軒と対話ができ、15 筆の署名が集まりました。寒風が染みる厳しいなかの行動でした。11 日(土)は 5 条 2 丁目の「アークス」を予定しましたが、悪天候のため手稲駅「あいくる」に変更。6 名が参加、小一時間で 24 筆が集まりました。

ひき続き毎週土曜日に行動を組むことにしています。会員の皆さん、よろしく。

(「九条の会つうしん」第 73 号)

3000 署名めぐり多彩な対話

【名古屋市瑞穂区／みずほ九条の会】

憲法 9 条改憲阻止へ向けた「安倍 9 条改憲 NO！3000 万署名」への協力を呼びかける宣伝行動が 9 日、名古屋市瑞穂区の地下鉄桜山駅前で行われました。みずほ 9 条の会が毎月おこなう「9 の日行動」で会員ら 10 人が参加しました。

戦争させない瑞穂区の会共同代表の見崎徳弘さんはマイクを握り、「日本国憲法は 70 年以上、世界に平和を誓ってきた。9 条は世界に知られ、素晴らしさが認められてい

ます」と強調。「平和の形を書いた憲法を安倍首相は変えようとしている。改憲されれば、アメリカとともに戦争できる国になり、悲惨な戦争の歴史が繰り返されてしまう可能性がある。改憲へ突き進む勢力を諦めさせるため、ぜひご協力を」と訴えました。

訴えを聞いた民生委員の女性(66)は「中2の孫がいるが、本当に戦争する世界になれば、犠牲になるのは子や孫たち。何が何でも戦争は反対」と署名しました。

「終戦時は2歳半でした」と切り出した、9条の会世話人の水谷えい子さん。「戦時中の記憶はありませんが、戦後の貧しさや不平等を体験しました。安倍政権になって、子どもの貧困や格差は広がるばかり。政府に憲法を守らせましょう」と訴えました。同世話人の伊東真弓さんも「トランプ米大統領が来日し、武器を買ってくれと言い、安倍首相はニコニコとそれに応える。9条がないがしろにされている。平和の日本でいるために、憲法を守ろうと訴えました。

署名に快く応じた男性(80)は「憲法9条は大事にしないかね。1名でよければ協力したい」。足をとめた女性(63)も「いろんな考え方があるけど、憲法はやっぱり変えないほうがいい」。バス持ちの男性(57)は「職場にも九条の会がある。がんばってください」と話しました

自衛隊の書き込みに賛成の青年…

【東京都江東区／南砂団地9条の会・戦争法の廃止を求め砂町の会】 南砂団地9条の会・戦争法の廃止を求め砂町の会は11月12日、同区内のスーパー前で、「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」

にとりくみました。

南砂、北砂、東砂地域で保育運動や江東市民連合で活動する市民、戦争体験者など20人が参加、リレースピーチで訴えました。

斉藤信行・南砂団地9条の会事務局長は、「9条1項、2項はそのままでも、憲法に自衛隊を書き込めば、日本はアメリカと肩を組んで海外で戦争する国になってしまう。国会発議をさせない国民の声を届けよう」と訴えました。

木庭みち子・戦争法の廃止を求める砂町の会代表世話人は、「9条を持つ日本が核兵器禁止条約に署名すれば、北朝鮮に強く迫ることができる。9条改憲はアジアの平和に逆行します」と訴えました。

「頑張ってください」など激励とともに34人の署名が寄せられ、「自衛隊を書き込んでよいと思うが、自衛隊が海外に行くことには反対」と書名に悩む青年もいました。

主権者として戦争法反対の声を

【北海道岩見沢市／岩見沢九条の会】

岩見沢9条の会は11月13日、JR岩見沢駅前では早朝宣伝をしました。

「一昨年9月、戦争法は自民、公明両党と補完政党の数の力で成立しました」と語り始めた卜部喜雄代表。「日本を『戦争する国』に突き進もうと狙っています。日本国憲法は主権が国民にあると明記しています。主権者として、1人ひとりが戦争を許しているのかを判断し、9条改憲を許さない声を上げましょう」と強調。「『駆けつけ警護』を加え自衛隊員の命を危険にさらすことは断じて許されません」と批判しました。

訴えに、高校生がビラを受け取り、高齢

の夫婦は、手を振って応援。ビラ 110 枚を配布しました。

署名はさんだ対話が力になる

【東京都文京区／本郷・湯島九条の会】

11月14日、かねやす前で、少し雨が降ってきましたが、8名の参加で昼街宣をおこないました。

3000万人署名には8名の方が署名なさってくださいました。文京では本郷、湯島のみならず白山、千石の方もおりました。福岡の方も署名してくださいました。3000万人署名は容易なことではありませんが、多に力になることがわかりました。署名していただいた方々との対話がはずむのです。このような対話が大切なのです。

小雨にも拘わらず、ビラの取りは良く「安倍9条改憲 NO!全国市民アクション」の運動がジワリと浸透している感じです。

ご参加みなさまほんとうにご苦労様です。来月は12月12日です。本年最後の「本郷・湯島九条の会」かねやす前街頭宣伝になります。多くの方々のご参加をお待ちしています。

重要さ増す市民と野党の共闘

【東京都千代田区／千代田9条の会・明治大学9条の会】千代田9条の会と明治大学9条の会は11月8日夜、「ストップ安倍9条改悪～戦争への道ゆるさぬ行動急ごう」と題して、3000万署名運動のはずみをつける講演学習会を千代田区の明治大学で開きました。講師は、「立憲デモクラシーの会」の呼びかけ人で上智大学教授の中野晃一さん。120人が参加。司会を明治大の学生

がつとめ、「いまの憲法を守ろう」との学生の飛び入り発言もありました。

「平和と・人権を希求するオール明治の会」事務局長の黒田兼一教授が開会あいさつしました。3年前に戦争法に反対する運動のなかで結成された「安全保障関連法案に反対するオール明治の会」を、ことし10月1日に、大学を人間性豊かな知の拠点、平和の拠点、国際性のある人権尊重の拠点にする決意をこめて同会に名称を変更したと強調。「反トランプデモが行われた韓国を見ていると、私たちの運動がもっとがんばらないといけないと痛感します。一緒にがんばりましょう」と結びました。

中野さんは、政策より「アメリカファースト」などと排外主義的主張で大統領になったトランプ現象など欧米での政治の流れも紹介しながら、今回の総選挙での立憲野党の踏みとどまりと「市民と野党の共闘」の意義を強調しました。

教育とマスコミの役割にも注目

【札幌市・中心街職場9条の会】札幌中心街職場9条の会11月7日夜、第10回総会・記念講演会を札幌市で開きました。

日本ジャーナリスト会議北海道支部の往住（とこすみ）嘉文事務局長が改憲問題について講演。「軍拡か軍縮かが問われており、軍備拡大、軍事費増大に反対する運動を続けていくことが大事です」指摘しました。

会場から「選挙の争点として憲法問題はどうか、煮え切らない思いがある」との声がでました。往住氏は「改憲論議で教育とマスコミに問題があると思う」として、マスコミ報道に疑問を呈しました。

大学入試のありようを指摘した教師の声も紹介。「近現代史が入試にできれば、憲法や自衛隊の勉強をしなければならなくなり、若者は関心を持つようになるのではないか」と話しました。

総会は、9条を破壊する戦争法廃止へ団体・個人と力を合わせ、9条改憲ノー300万署名を集めようと確認しました。

元公務員の男性は、「憲法を学ぶことが大事。安倍政権を追い詰めるには何をすればいいか、考えていきたい」と話しました。

若者むけの発信が大事

【福井市／福井市 9条の会】 福井市9条の会主催の憲法カフェが11月5日、市内の喫茶店で開かれ、約30人が参加しました。

もと地元紙記者でジャーナリストの佐野周一さんが憲法と労働運動を語りました。

佐野氏は、地元紙に入社した当時の争議や、新聞つぶしとのたたかひの経験を紹介し、「外勤記者30年、労組役員15年、憲法に守られて労働運動もできた」と述懐。「現在は地域で9条の会に取り組み、宣伝活動も頑張っている」と話しました。

海道宏美弁護士と全国紙若手記者のトーク企画で登場した若手記者は総選挙のマスコミ報道について、「政局報道に偏っていたのではないか。安倍政権の森友・加計問題や各党の政策などが伝わらなかったのでは」と話しました。若者の中の「保守化・自民支持」に対しては、「学生時代にデモに行くと『デモちゃん』といわれた。批判だけしている異質な存在にみえる面があるのではないか。ツイッターなどでも動画を短くするなど、若者向けの発信が大事」など

と語りました。

参加者らは、福井音楽9条の会のうたごえも楽しみました。

今は安倍改憲阻止に力そそぐ時

【神奈川県／九条かながわの会】 横浜市中区で11日、「アベ9条改憲発議をゆるすな！」と題した集会が開かれました。主催した九条かながわの会の岡田尚さん（弁護士）が、「安倍9条改憲NO！ 300万署名」に取り組むよう行動提起しました。

ドイツ文学翻訳家の池田田香代子さん、ジャーナリストの伊藤千尋さんが講演しました。

池田さんは、「夜と霧」の作者でアウシュビッツ収容所から生還したヴィクトール・フランクルらのたたかひに触れ、自発性を持ち、人を信じ、人とつながる必要性を強調。「過去の人たちは、到達は見られなくても、たたかひました。今は安倍改憲を許さないことに力を注ぐとき。私たちも、たたかひましょう」と呼びよびかけました。

伊藤さんは、憲法9条が共感をもって世界で広がり、各国の市民が平和を実現しようと行動したことで社会や政治が変わってきたと紹介。あきらめずに行動を続けていくことで社会は変えられると語り「(社会を変える)最初の1%になろう」と訴え。

赤池美礼さん（バイオリン）、佐藤佑美さん（ピアノ）は「表現の自由や文化を壊す戦争は、あってはならない」と語り、二重奏を4曲演奏しました。

県内各地の9条の会が登壇し、憲法を変えさせない決意を表明しました。

参加した神奈川県職員9条の会の星妙子

さん(62)は「講演はとてもポジティブで、日本もそうなりたいと思われました。私たちの会も、現役の参加を増やせるよう取り組みを考えていきたい」と話しました。

中韓と連携して米に働きかけを

【鳥取市／鳥取市 9 条の会】 鳥取市 9 条の会は 11 月 11 日、第 3 回市民講座を開き、鳥取大学名誉教授の藤田安一氏が「トランプ政権と日米同盟のゆくえ」と題して講演しました。

藤田氏は、日米安保条約によって集団的自衛権の行使、安保法制の制定、自衛隊の米軍との一体化、米国の戦争への協力と財政支援が求められてきたと指摘。「軍拡を続けるか、安保法制を廃止し、憲法にもとづいた軍事によらない安全保障を行うのか、国民の選択が問われる」と提起しました。

藤田氏は米国と北朝鮮との戦争をどう避けたいのかとの問いに、日米韓の共同軍事演習などで偶発的な軍事衝突がおきかねない事態が進行していると指摘。「中国と韓国が対話による平和解決を求めているのに対し、安倍首相は『日本は 100%アメリカとともにある』『対話は意味がない』などトランプ大統領をあおっている」と批判。日本政府が中韓と連携してトランプ大統領に働きかけることが重要だと強調しました。

世界が見た日本国憲法 9 条

【青森県／津軽九条の会など】 津軽 9 条の会と青森県内で活動する 8 つの 9 条の会は 12 日、国際ジャーナリストで九条の会世話人の伊藤千尋氏を講師に招き憲講演会を弘前市で開きました。会場いっぱいの約

130 人が参加しました。

「世界が見た日本国憲法 9 条の意義を考える」と題して講演した伊藤氏は、訪れたたスペインやトルコでは「広島・長崎広場」と名付けた広場をつくり、そこへ日本国憲法 9 条の碑が建てられていることを紹介。

軍隊をなくした中南米の国、コスタリカでは国民が憲法を生かし政治を動かし、核兵器禁止条約の提案国であり議長国として「平和の輸出」を実践していると述べました。「世界でも憲法 9 条が平和の象徴であることが認識されている。安倍首相はどう思っているのか」と戦争する国へ突き進む安倍政権を批判しました。

伊藤氏は、民主化を後押しした海外の市民運動をいきいきと語り、「『世界で起こる市民運動には歌があり、SNS で発信し拡散している。日本もここに学ぼう』と呼びかけました。

感想を寄せた女性(50代)は、「市民運動で政治は変えられるんだと元気になりました」と語りました。

いま、九条の会の正念場

【千葉県佐倉市／佐倉・九条の会】 佐倉・九条の会は 11 月 11 日、市内で、結成 12 周年のつどいを開き、市民ら約 50 人が参加しました。

同九条の会を代表して、ジャーナリストの榛原昭寿(はいばら・あきひさ)氏があいさつし、「本格的に憲法を壊そうとする安倍政権に対して、今が正念場。『会』をあげて反対をしていこう」と呼びかけました。

千葉県憲法会議代表幹の高橋勲弁護士が「安倍九条改憲のねらいと本質—総選挙結

果を踏まえて」と題して講演。高橋氏は「改憲大連合と憲法改悪阻止、憲法を生かす国民大連合が9条をめぐる最大の対決局面だ」と指摘し、「安倍9条改憲」の狙いや、自衛隊を9条に書き込む危険性を告発。安倍9条改憲を許さないために、市民と野党の共同の発展、憲法学習会、「3000万署名」一などを提起しました。

ミニコンサートでは、吉田勝彦さんがギター演奏で歌声を披露。同九条の会呼びかけ人の詩人で民謡研究家の佐藤文夫さんが詩を朗読したほか、伊藤繁子さんが憲法9条を唱和しました。

蕨（わらび）和雄佐倉市長がメッセージを寄せました。

9条を守る思いこめて平和展

【徳島県／西部みんなの九条の会】西部みんなの九条の会の第9回平和展が、三好市民文化祭の一環として11月19日まで同市の池田総合体育館で開かれました。

原発被害の惨状を告発した写真20点余、世界地図に非核地帯と核兵器の数や今年の7月の国連で採択された核兵禁止条約に反対する国を示したパネルを展示。「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」への協力を呼びかけました。

副代表の岩本貞良さん（69）は「憲法を守らない安倍政権が、憲法を変えることがおかしい。9条を守るとの思いを地域で広げたい」と話した。

展示を見た東みよし町の多田精一さん（79）は「原爆の写真は胸が詰まる。核兵器を禁止するために、政府は禁止条約に賛成すべきだ」と語りました。

群馬県・我が9条 かく戦う！

◇豊八幡九条の会 富田英子

安倍晋三首相は総選挙結果を受けて行った会見で自民党が総選挙公約の重点政策に入れた9条改憲をめぐり、改憲草案の国会提出の意思を表明しました。「前倒しする、早くやる、国民が良くわからないうちに決定する」安倍首相の手口を許さないことが今一番重要です。そのために、3000万署名を前回の署名を抛り所に早急に進めましょう。すべての「9条の会」の会員に、地域の皆さんに、職場の皆さんに、市民の皆さんに。

◇六郷九条の会 朝岡和夫

選挙直前の新党さわぎが野党共闘を壊し、中国や北朝鮮のニュースは反共宣伝に利した。それらに打ち勝る力をつけることが必要だ。それでも共闘を貫いた戦術は、共闘勢力の議席をふやす結果になった。私たちは地域で淡々と活動していく。

11月4日の高経大の三翠祭の日は門前で3000万署名を呼びかける。9日のスタンディングのあとで、2人ずつ3組で九条の会の会員を訪ねて署名を依頼する。会員200人に5筆で、1000筆を目標にした。9条を変えさせない。

◇中川九条の会 内藤真治

民意が議席に反映しない選挙制度の下で虚構の自民圧勝。与でもないが野でもないが「ゆ党」もあるが事態はすっきりした。

「戦争はいやだ」は圧倒的多数の国民の声だ。これからが正念場。がんばろう!!

（特定秘密保護法廃止を求める市民の会発行「あきらめない」第47号より）